

下地の吸水性を安定させ、下地との接着強さを発揮。

太平洋 トフコンE

吸水調整材（塗布・混入型）

エチレン酢酸ビニル共重合

用途

- 各種下地（コンクリート、ALC、ブロック等）の吸水調整用
- モルタル及び既調合モルタルへの混入用



荷姿/18kgペール缶入り

特長

塗布工法の場合

- 下地の吸水性が安定するので、下地への接着強さが安定します。
- 水で簡単に希釈できます。
- 耐アルカリ性、耐水性にすぐれています。

混入工法の場合

- セメントとの混和性にすぐれ、作業性の良いポリマーセメントモルタルが得られます。
- モルタルの吸水性、透水性を低減し、耐久性を向上させます。
- モルタルの耐衝撃性を向上させます。

工法別標準仕様

◆ 塗布工法の場合

用途	希釈方法	標準塗布量(希釈液)	標準塗布面積(缶)
壁コンクリート	トフコンE 1 : 4 水 	150~200g/m ²	450~600m ²
床コンクリート	トフコンE 1 : 3 水 	150~200g/m ²	360~480m ²
ALC下地	トフコンE 1 : 4 水 	350~450g/m ²	2回塗布で 120m ²

◆ 混入工法の場合

- セメント量の10~20%重量を混入し、清水で軟度を調整しながら練り混ぜて下さい。尚、混入する場合は予め清水にて希釈してお使い下さい。
- 練り混ぜ後の材料は、60分(夏期40分)以内に使用して下さい。

下地処理（共通）

下地の点検作業は、その後施工されるモルタルの接着性に多大な影響を及ぼしますので、「トフコンE」の塗布の有無にかかわらず、入念に行ってください。

- ① 下地表面のレイタンス、硬化不良部、油分、型枠の剥離剤等は取り除いて下さい。
- ② 塗布工法の場合、露出金属部は防錆処理して下さい。
- ③ ジャンカ部及びひび割れ部はUカットし、樹脂モルタルで補修して下さい。
- ④ ごみ・ほこりを水洗いして取り除き、ていねいに清掃して下さい。

物性試験

成分	エチレン酢酸ビニル共重合
比重	1.0 ± 0.1
粘度	1,000 ± 300cps
外観	乳白色
pH	6.0 ± 1.0
固形分量	45 ± 1%
凍結安定性	良好
湿潤安定性	良好
機械安定性	良好

性能試験

：塗布工法としての性能
日本建築工学会規格：M-101 セメントモルタル塗り用吸水調整材の品質基準

試験項目	試験結果	性能基準値
デイスパージョンの試験	外観	異常は、認められなかった 素粒子、異物、凝固物などがないこと
	全固形分	45.4% (表示値 45 ± 1%) 表示値 ± 1.0 以内であること
吸水試験	吸水性	0.3g 30分間で1g以下であること
接着強度試験	標準状態	2.38N/mm ² (モルタル凝集 100%)
	熱冷繰返し抵抗性試験	2.65N/mm ² (モルタル凝集 100%)
	凍結融解抵抗性試験	2.33N/mm ² (モルタル凝集 100%)
	熱アルカリ溶液抵抗性試験	2.13N/mm ² (モルタル凝集 100%)

著しいひび割れ及び剥離がなく接着強度が、0.98N/mm²で界面破断が50%以下であること

：混入工法としての性能
JIS A 6203（セメント混和用ポリマーデイスパージョン及び再乳化形粉末樹脂）

試験項目	品質規格	トフコンE
曲げ強さ (N/mm ²)	8.0以上	13.9
圧縮強さ (N/mm ²)	24.0以上	59.8
接着強さ (N/mm ²)	1.0以上	2.6
吸水率 (%)	10.0以下	2.0
透水量 (g)	15以下	1
長さ変化率 (%)	0~0.150	0.076

(財) ベターリビング試験結果による。

太平洋マテリアル(株)開発研究所試験結果による。

取扱い注意事項

《施工上の注意》

- 気温が 3℃以下になるような条件のもとでは使用を見合わせて下さい。
- ご使用は換気の良い場所で行い、必要に応じて保護眼鏡・保護手袋を着用して下さい。
- 吸水調整材として使用する場所は塗布後、ごみなどが付着しますとモルタルの付着力が低下しますので、24 時間以内にモルタルを塗り付けて下さい。
- モルタルに混入して使用する場合、空気を連行し過ぎないように注意して十分に練り混ぜて下さい。
- モルタルに混入して使用する場合、練り混ぜは機械練りで均一に練り混ぜて下さい。アルミ製羽根のハンドミキサーで

練り混ぜを行うと、アルミ部材が磨耗し、施工後モルタルが異常膨張することがありますので使用しないで下さい。

《保管上の注意》

- 6ヶ月以内にご使用下さい。
- 使い残しの場合は、密封して保存し、なるべく早くお使い下さい。
- 凍結の恐れのない、及び直射日光の当たらない場所に保管して下さい。保管時の温度は 5℃以下あるいは 40℃以上にならないようにして下さい。

《輸送上の注意》

運搬に関しては容器に漏れない事を確かめ、転倒、落下、損傷が無いように積込み、荷崩れの防止を確実に行って下さい。

《廃棄上の注意》

- 廃液として処理する場合に許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託して下さい。
- 洗浄水等の排水は、水質汚濁防止法等の関連諸法令に従って廃棄して下さい。

《漏出時の措置》

流路を毛布・土嚢等を用いてせき止め、多量流出の場合はバキューム等で汲み上げ、また少量流出の場合はおが屑、土砂、パーライト等を混ぜ、モルタル状として凝固回収して下さい。作業の際には長靴、手袋、保護眼鏡などの保護具を着用して下さい。多量に河川、湖沼へ流出した場合必要に応じ、警察署、消防署、都道府県市町村の公害関連部署、河川管理局、水道局、保健所等に連絡して下さい。

《応急措置》

- 目に入った場合：清浄な水で洗浄した後、直ちに医師の手当てを受けて下さい。
- 皮膚に付着した場合：付着した衣服、靴をぬぎ、付着した部分を水または温水で流しながら洗浄して下さい。
- 吸い込んだ場合：蒸気、ガス等を吸入して、気分が悪くなった場合は、直ちに空気の新鮮な場所に移動させて、安静、保温に努め、速やかに医師の手当てを受けて下さい。
- 飲み込んだ場合：多量の水を飲み、吐き出した後、直ちに医師の手当てを受けて下さい。

本カタログの記載内容及び仕様は予告なしに変更する事がありますのでご了承ください。



〒114-0014 東京都北区田端6-1-1 田端ASUKAタワー15階 ☎03-5832-5217
URL <http://www.taiheiyo-m.co.jp>
営業本部 機能性材料営業部